

2023年1月18日

戦没者遺骨問題・ガマフヤーと国との意見交換会

場所 衆議院第2議員会館 1階多目的会議室

時間 1時開場

1部 1時30分～3時 厚労省・外務省意見交換会

2部 3時15分～4時30分 防衛省意見交換会

意見交換会の趣旨

1部では、厚労省に対して戦没者遺骨収集推進法の延長の展望について意見交換します。また、厚労省が戦没者遺骨鑑定センター(DNA分析施設)を設置したとしていますが、その現状を確認します。沖縄戦戦没者遺骨と遺族の、また2021年10月から始まった太平洋地域の遺骨と遺族のDNA鑑定状況について確認します。安定同位体比検査を鑑定の検査として本格導入することを求めます。日本でも沖縄で古墓遺骨と戦没者の遺骨を分類するためにすでに実用化しています。4人に1人が韓国・朝鮮からの戦没者であるタラワ島の安定同位体検査についてもすると言いながら一向に検査を行いません。日本の鑑定は岐路に立っています。外務省に対しては韓国人遺族の遺骨返還・事業参加について早期に実現するよう3年ぶりに韓国遺族が対面で参加し訴えます。日本政府が植民地支配を反省にするという立場に立つならば、直ちに韓国のご遺族の声を聞くべきです。

2部では、防衛省に対して、沖縄南部土砂問題について、糸満で11月26日に行われた戦没者遺族公聴会の意見や、1月4日の糸満魂魄の塔前の戦没者の尊厳を守る集会の遺族の声を伝えます。防衛省は8月5日の意見交換会では「ご遺族の意見を聴く予定はない」と、南部遺骨土砂の当事者であるご遺族を無視する問題発言をしました。遺骨は防衛省のものではありません。ご遺族の意見を聴く場を持つように迫ります。また、遊休化している那覇軍港の返還を求める沖縄県民の声に対して、浦添の西海岸の埋め立て新軍港建設が進められています。沖縄県民共有の財産である美しい海を破壊し、戦争に接近するこの浦添西海岸の埋め立てに断固反対の意思を示します。

宮古島・石垣島・与那国島などに続き、沖縄本島のうるま市でもミサイル配備計画が明らかになりました。防衛省は本土に戦火が及ばないと考えているのでしょうか。「全国の原発のある自治体にミサイル攻撃を想定した地域住民の避難計画を促さないのはなぜでしょうか。戦火は本土には来ないと考えているのか。」と、防衛省に問いたいと思います。戦没者の尊厳を守らない政府の本音が見えてきました。

連絡先

具志堅隆松 沖縄戦遺骨収集ボランティア・ガマフヤー 090-3796-3132

上田慶司 戦没者遺骨を家族の元へ連絡会 090-2062-5695